

平成22年度第1回図書館協議会配布資料一覧

1 次第

2 平成21年度事業報告

【資料1】

3 平成21年度図書館サービス評価指標の達成状況・自己点検の結果報告【資料2】

4 県民の本棚について

【資料3】

平成22年度第1回図書館協議会次第

日 時 平成22年7月7日（水）
午後2時から
場 所 千葉県立中央図書館 講堂

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

- (1) 平成21年度事業報告について **【資料1】**
- (2) 平成21年度図書館サービス評価指標の達成状況・自己点検の
結果報告について **【資料2】**
- (3) 平成21年度図書館サービス評価指標の達成状況の評価について
- (4) 県民の本棚について **【資料3】**
- (5) その他

4 その他

5 閉 会

平成 21 年度事業報告

概 況

県立図書館は、運営方針に基づき、県内公共図書館の中核としての県立中央図書館、県西部地域の図書館を援助する県立西部図書館、県東部地域の図書館を援助する県立東部図書館の3館の密接な連携により、県内公共図書館への援助、県内の中核的調査研究図書館としての情報・資料の提供、図書館未設置市町村の読書施設に対する資料援助や運営相談及び職員研修等の幅広い図書館活動を行った。

また、図書館サービス評価指標（22年度までの3年間）について外部評価制度の公表、パスマインダーの作成を行ったほか、中央図書館では関係機関の協力を得て県民の課題解決型の企画展示「ちば型食生活～図書館が応援します～」を、西部図書館では図書館を利用して生涯学習を行っている方々の発表の場として「図書館 まなびトーク」を開催した。東部図書館では、国民読書年（平成22年）事業の第一弾として図書館利用者から読書感想文を募集し、館報「知識は旅をする」に応募作品を掲載した。なお、県立図書館職員の資質向上を図るため、情報セキュリティと資料保存に関する研修会を各1回、中央図書館で開催した。

図書館事業概要

項目		館名	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計
資料整備	資料総数	受入冊数	11,011 冊	5,512 冊	9,892 冊	26,415 冊
		(内購入冊数)	(6,596 冊)	(3,456 冊)	(8,111 冊)	(18,163 冊)
		購入費	31,000千円	20,000 千円	34,000 千円	85,000 千円
	蔵書数(平成22年3月末現在)	850,138 冊	243,101 冊	227,486 冊	1,320,725 冊	
新聞・雑誌・法規集	81紙・3,392誌・35種	93紙・650誌・9種	28紙・377誌・4種	202紙・4,419誌・48種		
サービス業務	利用状況	入館者数	95,577 人	242,406 人	191,644 人	529,627 人
		登録者数	13,646 人	18,659 人	11,082 人	43,387 人
		個人貸出	56,037 冊	69,850 冊	64,326 冊	190,213 冊
	資料複製サービス	160,525 枚	75,906 枚	15,374 枚	251,805 枚	
参考調査 照会・質問	14,323 件	15,168 件	6,604 件	36,095 件		
協力業務	図書館間貸出冊数	41,351 冊	17,155 冊	33,588 冊	92,094 冊	
	市町村立図書館等の相互貸出冊数	41,880 冊	31,836 冊	13,518 冊	87,234 冊	
管内人口(平成22年1月1日)						6,187,319 人

備考 蔵書数にはマイクロ資料、視聴覚資料を含む。

1 資料の収集

(1) 県立全館の資料整備

県民の調査研究活動を支援するため、また、県内の市町村立図書館等への協力・援助を行うため、中央図書館・西部図書館・東部図書館が連携・分担して収集整備した。

資料整備実績

区 分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計	目 標 値
購入図書資料	6,596 冊	3,456 冊	8,111 冊	18,163 冊 (97.4%)	18,644 冊
寄贈図書資料	4,415 冊	2,056 冊	1,781 冊	8,252 冊 (100.6%)	8,200 冊
千葉県関係資料 (購入・寄贈)の総数	2,195 冊	766 冊	832 冊	3,783 冊 (123.6%)	3,060 冊
逐行印刷 購入	203タイトル	483 タイトル	307 タイトル	993 タイトル	

※ () 内は、年度計画に対する達成率

(2) 市町村立図書館等除籍資料の保存

県内の最終的な保存図書館として、市町村立図書館除籍資料等を収集した。

区 分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計	当初計画値
図 書	80 冊	161 冊	273 冊	514 冊	—
雑 誌	268 冊	467 冊	0 冊	735 冊	—

2 奉仕業務

来館する利用者に関覧、貸出し、資料複製等のサービスを実施し、県民から寄せられる口頭、電話、メール、文書等による、資料に関する調査・相談等に応じた。千葉県関係資料、児童サービスでは中央図書館が県内のセンター館としての活動を行い、障害者サービスは県立図書館3館が連携・協力してサービスの充実に努めた。また、中央図書館では、千葉県農林水産部安全農業推進課等の協力を得、企画展「ちば型食生活～図書館が応援します」を実施した。参考業務では、県民が資料・情報を効率的に探せるようにパスファインダーの作成に着手した。

【中央図書館】

21年度の新規事業として、「盲ろう者対応読書支援機器活用講座」を実施した。児童サービスでは、絵本の読み聞かせ等の講師に職員を積極的に派遣した。障害者サービスでは3館統一の「障害者サービス実施要項」の施行、「障害者サービス利用案内」「録音図書電子資料目録」を作成した。

<平成21年度実施事業>

事 業 計 画	実 施 状 況
定例おはなし会 毎週土曜日 午後	全48回 語り手 当館児童資料室司書他 参加者延べ303人 平均6.3人/回
図書館活用ミニ講座 第2金曜日 第4日曜日	「県立図書館OPACの使い方」等全9回 講師 当館職員 参加者延べ12人 平均1.3人/回
図書館音訳者養成講座 全2回	7月16日(木)、17日(金)「音訳に役立つレファレンスツールについて」講師 朝日カルチャーセンター 講師 松本久美子氏 参加者延べ35人 平均17.5人/回
子どもの本の読み聞かせ講座 全2回	市原会場 10月29日(木) 講師 船橋市・にんじん文庫 入交静氏 参加者36人 館山会場 1月28日(木) 29日(金) 講師 船橋市・ゆか下文庫 小谷孝子氏 参加者延べ71人 平均35.5/回
冬のおはなし会 全2回	12月5日(土) 語り手 当館児童資料室司書他 参加者 午前の部 25人 午後の部 17人
アドベンチャーライブラリー(図書館探検) 1回	2月14日(日) 参加者 小学生2人
書庫見学会 第2金曜日 第4日曜日他	全18回 参加者延べ56人 平均3.1人/回
障害者用読書支援機器活用講座	9月9日(水) 9月16日(水) 11月27日(金) 参加者延べ49人 平均16.3人/回
講師派遣(読み聞かせ等) 全16回	当館司書 大石豊、中野晶子、平塚明子等 参加者延べ1,117人
盲ろう者対応読書支援機器活用講座	12月9日(水) 参加者数 9人

資料名	出版物・番組名	出版・製作者名
関宿土産	県広報番組 ウィークリー千葉 県	千葉県総合企画部報道 広報課
世喜宿土産（関宿土産）	町史 五霞の生活史 水と五霞	茨城県五霞町教育委員 会

【西部図書館】

県民の図書館利用の拡充を図るため、図書館を利用して生涯学習を行っている方々の発表の場として「図書館まなびトーク」（ワンポイント図書館活用講座同時開催）を4回開催した。障害者サービスについては、DAISY再生機活用紹介と利用者・音訳者交流会を含めた「障害者用読書支援機器活用講座」を開催したほか、読書相談・利用案内など、幅広い情報提供に努めた。また、図書館ボランティア養成のための講座を開催するとともに、県関係機関の協力による「就業応援コーナー」を新たに設置した。

<平成21年度実施事業>

事業計画	実施状況
図書館まなびトーク 4回	5月22日(金) 演題「良寛和尚の足跡」発表者 細井法氏 演題「無害な核エネルギーと中央アジアの資源大国 カザフスタンの将来展望」発表者 岡戸大国氏 参加者24人 7月24日(金) 演題「無いものを図書館で探す」発表者 末満宗治氏、演題「調べることはおもしろい…… ～自然誌関係文献目録編集の経験から～」発表者 三沢博志氏 参加者37人 10月30日(金) 演題「豊富な史料を利用して学習～天文 と古代人の関わり～」発表者 佐久間直次氏、 演題「図書館を書斎に！ 読書会100回余とポスト モダン」発表者 中條藏實氏 参加者31人 2月26日(金) 演題「ホーキングの「時間順序仮説」を 読んで考えさせられるもの」発表者 岩渕梧郎氏、 演題「”自分なりの図書館利用法”－新聞・雑誌を 読む－」発表者 石橋勲氏 参加者21人
ワンポイント図書館活用講座 4回 (図書館まなびトーク同時開催)	5月22日(金)「良寛の自画像を探す」、「カザフスタ ンについての資料を探す」(参加者24人) 7月24日(金)「千葉県の地図を探す」(参加者37人) 10月30日(金)「暦について調べる」(参加者31人) 2月26日(金)「新聞・雑誌で調べる」(参加者21人) ※各講座の講師：西部図書館職員
図書館音訳者養成講座（中級） 4回	11月4日(水)「千葉県立図書館における障害者サービ スの状況」報告者 千葉県立中央・西部・東部図書 館担当職員、「音訳者のための発声について」講師 フリーアナウンサー 高山久美子氏 11月11日(水)、18日(水)「同上」講師 フリーアナウ ンサー 高山久美子氏 11月25日(水)「効率的なDAISY製作」講師 NPO法人「点 訳音訳集団一歩の会」理事長 岩野英夫氏、ほか 参加者延べ51人

ボランティア養成講座 1回	6月25日(木)「図書館概論、西部図書館でのボランティア活動について」、「市立図書館におけるボランティア活動」発表者 西部図書館職員、「登録ボランティアによる体験談」発表者 当館ボランティア参加者15人
障害者用読書支援機器活用講座 2回	2月24日(水) 午前の部 「各種デジタル録音図書プレーヤー活字読み上げ機器の操作説明」講師 (株)アメディア営業企画部営業課長 宇都修一氏 同日 午後の部「同上」、音訳図書利用者・音訳ボランティア等との交流会 参加者延べ24人

【東部図書館】

障害者サービスについては、「図書館音訳者養成講座」を開催し、デジタル録音技術の習得を目指した。また、旭DVD愛好会の企画協力で「名作映画鑑賞会」を毎月開催するとともに、図書館利用の一層の拡充を図るため、新たに図書館見学と検索研修を行う「図書館の達人(初級編)」を開始した。

<平成21年度実施事業>

事業計画	実施状況
図書館音訳者養成講座 全5回	9月2日(水)、9日(水)、16日(水)、30日(水)、10月7日(水) 第1回「デジタル録音機による直接録音①」 第2回「 〃 ②」 第3回「パソコンによる編集と仕上げ」 第4回「カセットテープからの音源の取り込み」 第5回「パソコンによる編集と仕上げ」 講師 視覚障害者総合支援センターちば職員 石渡きよみ氏 参加者延べ37人 平均7.4人/回
文学・歴史講座 1回	11月28日(土)「九十九里の文化・文学・町おこし」 —中西月華と仲間たちの明治・大正・昭和— 講師 東京成徳大学人文学部教授 鶴巻孝雄氏 参加者 40人
名作映画鑑賞会 毎月第3土曜日 全11回	4月18日「チャップリンの失恋」 チャールズ・チャップリン監督 1914年 5月16日「裁判員 選ばれ、そして見えてきたもの」 梶間俊一監督 2006年 6月20日「大学は出たけれど」 小津安二郎監督 1929年 7月18日「大樹のうた」 サタジット・レイ監督 1958年 9月19日「西部戦線異状なし 上下」 ルイス・マイルストーン監督 1930年 10月24日「会議は踊る」 エリック・シャレル監督 1949年 11月21日「赤い砂漠」 ミケランジェロ・アントニオーニ監督 1964年 12月19日「小公女」 ウォルター・ラング監督 1939年

	1月16日「紅いコーリャン」 チャン・イーモウ監督 1987年 2月20日「美女と野獣」 ジャン・コクトー監督 1946年 3月20日「こねこ」 イワン・ポポフ監督 1996年 参加者延べ264人 平均24人／回
資料展示 展示コーナー 4回 資料紹介コーナー 12回	展示コーナー 4回実施 (4月～7月)「2009年 生誕100年の人々」 (7月～10月)「日本漫画の世界 ～昭和編～」 (10月～12月)「世界の名作映画 ～アカデミー賞受賞作品を中心に～」 (1月～4月)「日本の古典芸能 第二幕 文楽、能・ 狂言、講談」 資料紹介コーナー 12回実施
図書館の達人(初級編) 毎月第2日曜日 全9回	5月10日、6月14日、7月12日、8月9日、9月13日、 11月8日、12月13日、1月10日、2月14日 参加者 延べ20人

3 協力・援助業務

市町村立図書館等の求めに応じて、資料の図書館間貸出しを行った。また、県立3図書館間、県立図書館及び市町村立図書館間に連絡車・協力車を定期的に巡回させ、相互貸借の資料を搬送した。

さらに、市町村立図書館及び図書館未設置市町村公民館図書室等に対して、運営相談・協力レファレンス等を通じた援助を行うとともに、高校・大学及び類縁機関等との連携、読書活動の充実に努めた。

21年4月から白子町、長南町、御宿町の3町が千葉県公共図書館協会へ加入したことにより、県内全市町村による相互貸借のネットワークが整備された。

【中央図書館】

ア 市町村立図書館等相互協力担当者会議

40市町村 43人出席

イ 行政支援

県民生活の維持向上などに係る施策を企画・立案している県庁各課へ、業務で必要な資料の貸出しや調べものの支援として情報提供サービスを行った。(貸出冊数 1,045冊)

ウ 県内の読書活動を推進するため、千葉県読書グループ連絡会と共催で、千葉県読書グループ研修会を開催した。また、読書会用のテキストとして十冊文庫を整備した。

<十冊文庫>

整備数 16 (総タイトル数 1,369)

【西部図書館】

ア 市立図書館相互協力担当者会議

・11市 2回開催 計43人出席

イ 新聞雑誌総合目録データ

千葉県公共図書館協会加盟館及び千葉県文書館、千葉県立保健医療大学、さわやかちば県民プラザが所蔵する新聞・雑誌のデジタルデータを提出してもらい、県立図書館ホームページで公開した。

ウ 広報・支援活動

市立図書館への広報として3館での相互協力NEWS担当発行と共にエリア内へのメールマガジン“Ciao Ciao”6回発行。また図書館及び連携する高等学校に対する運営相談を実施した。(図書館)55回、高等学校16回)さらに高等学校支援として各教科・総合的な学習の時間での活用事例集やワンポイントアドバイスの配布等を行なった。

【東部図書館】

ア 市町立図書館等相互協力担当者会議

11市町 23人出席

イ 市町立図書館及び未設置町公民館図書室に対する運営相談

図書館及び公民館図書室等に対し延べ122回の運営相談を実施した。

ウ 高等学校等支援

- ・東総地区高等学校図書委員連絡協議会と共催で総会及び研究会を開催。絵本の読み聞かせの実践について講義と実技を行った。(11校、生徒32人、引率職員15人)
- ・進路学習への協力
千葉県立成東高等学校の進路学習のための特別授業としての大学模擬講義に対し、事前学習用資料を提供した。
- ・運営相談の実施
東部図書館奉仕対象地域内の高校20校及び大学2校に対し、延べ84回の運営相談を実施した。

4 研修事業

市町村立図書館職員等の資質向上を図るため各種の研修会を実施し、市町村立図書館等への援助機能の充実に努めた。

【中央図書館】

事業計画	実施状況
公共図書館新任職員研修会 1回 参加予定数70人	5月13日(水)「公共図書館の役割、利用サービス、レファレンスサービス及び相互協力業務等」講師 当館司書 大石豊、高橋正名、平塚明子、中野晶子 参加者78人
公共図書館中堅職員研修会 1回 参加予定数30人	9月25日(金)「図書館サイトでソーシャル系サービスを使い倒す！」講師 岡本真氏 参加者19人
児童サービス基礎研修会 全4回	第1回 6月4日(木)「児童奉仕概論」講師 船橋市中央図書館主査 夏原清美氏 参加者29人 第2回 7月9日(木)「絵本・物語の選書について」講師 柏市立図書館副主査 利光朝子氏 「おはなし会の運営について①」講師 当館館内奉仕課長 伊藤博 参加者31人 第3回 9月3日(木)「ノンフィクションの選書」講師 千葉市美浜図書館主査 山田吟子氏 「おはなし会の運営について②」講師 当館司書 平塚明子 参加者30人 第4回 12月10日(木)「レファレンスについて」講師 当館司書 高梨涼子 「すべての子どもに本の楽しみを」講師 県立君津特別支援学校教諭 佐藤泰代氏 「障害児に配慮された本について」講師 当館副主査 松井 進 参加者42人 延べ132人 平均33人/回

地域行政資料研修会 1回 参加予定数40人	7月2日(木)「『千葉県の歴史』について」 講師 千葉県文書館県史・古文書課副主幹 松浦眞二氏 「地域行政資料の探し方入門」 当館司書 山田浩子 「ビギナーのための郷土資料入門」 当館主査 亀井みゆき 参加者 32人
レファレンス研修会 レファレンスサービス基礎研修 2回 参加予定数80人	6月5日(金)「レファレンスサービス実践の基礎」 講師 当館司書 大石豊 「レファレンスインタビュー」 講師 当館司書 赤沼知里 「クイックレファレンス演習・基本参考図書解題」 講師 当館司書 大石豊、赤沼知里 参加者31人 6月16日(火)17日(水)「インターネットを活用した調べ方」講師 当館司書 安永はるみ、奈良伸一郎 参加者38人
レファレンス研修会 インターネット情報検索研修 1回 参加予定数20人	10月22日(木)「インターネットによる情報検索事例の検討」 講師 青山学院大学教授 小田光宏氏 参加者16人
レファレンス研修会 レファレンスサービス専門研修 1回 参加予定数40人	3月12日(金)「インターネットで使えるレファレンスツール」 講師 国立国会図書館主題情報部参考企画課 兼松芳之氏、北村弥生氏 「千葉市のパスファインダー作成の実際について」 講師 千葉市中央図書館調査班主査 長塚裕美子氏 「千葉県立中央図書館のパスファインダー作成の実際について」 講師 当館司書 赤沼知里 参加者36人
千葉県読書グループ研修会(協力) 1回 参加予定数50人	11月4日(水)講演「本の楽しさ読書の楽しさ」 野口芳宏氏 参加者55人
図書館音訳者養成講座 全2回 参加予定数30人	前掲(P2)
障害者用読書支援機器活用講座	前掲(P2)
盲ろう者対応読書支援機器活用講座	前掲(P2)

【西部図書館】

事業計画	実施状況
図書館ネットワーク研修会 1回 参加予定数40人	10月9日(金)「公共図書館はインターネットをどう活用できるのか？」 講師 ゆうき図書館副館長 笹沼 崇氏 「我孫子市民図書館の郷土情報発信」 発表者 我孫子市民図書館主任司書 梶村喜代子氏 参加者40人
資料補修研修会 1回 参加予定数30人	12月10日(木)「図書館資料の補修方法について」 講師 キハラ(株)高尾齋氏 参加者26人
障害者サービス研修会 1回 参加予定数40人	6月24日(水)「聴覚障害者への図書館サービス」 講師 (社)日本図書館協会障害者サービス委員会委員 渡辺修氏、「聴覚障害者の求める読書環境」

	発表者 市川市中央図書館資料・情報サービス担当 小川夏恵氏 参加者 31人
図書館音訳者養成講座（中級） 全4回 参加予定数 各回30人	前掲（P3）

【東部図書館】

事業計画	実施状況
図書館運営研修会 1回 参加予定数50人	6月18日(水)「情報の発信拠点としての図書館」 事例報告 ○図書館まなびトークについて 講師 県立西部図書館司書 金井紀子氏 ○マンガ戦争体験記の編集をとおして 講師 生涯学習一級インストラクター 堤輝彦氏 参加者18人
資料検索研修会 1回 参加予定数15人	7月24日(金) 県立図書館ホームページの検索等を体験することにより、利用者の求めに的確に応え、相互協力の一層の活用を促すための講義及び実習 講師 当館司書 藪 竜太 参加者5人
図書館音訳者養成講座 全5回 参加予定数30人	前掲（P4）

5 電算業務

横断検索参加自治体に4市町村（鴨川市、鎌ヶ谷市、酒々井町、印旛村～印旛村は、その後、印西市と合併）を追加したので、平成21年度末の参加自治体数は33市3町（66館）となった。

《横断検索参加自治体一覧》 平成22年3月末で33市3町66館

参加年度	参加自治体
平成13年度	千葉市、市川市、佐倉市、浦安市、四街道市、南房総市、香取市
平成14年度	船橋市、成田市、八千代市、山武市、横芝光町
平成15年度	旭市、市原市、我孫子市、袖ヶ浦市、八街市
平成16年度	松戸市、富里市、匝瑳市
平成17年度	東金市、君津市、白井市
平成18年度	銚子市、木更津市、印西市
平成19年度	野田市、茂原市、習志野市、流山市
平成20年度	館山市、柏市、大網白里町
平成21年度	鴨川市、鎌ヶ谷市、酒々井町、印旛村（現印西市）

平成21年度【図書館サービス評価指標の達成状況・自己点検の結果報告】

区分	サービス評価指標	達成目標	平成21年度達成状況	自己評価	摘要
1 所蔵資料の充実	① 資料購入冊数	概ね現状維持 平成21年度目標 18,600冊 (平成22年度目標 20,000冊)	18,163冊 (97.4%)	B	図書購入費7%減額を踏まえ、3館でより緊密に連絡調整を行い分担して資料整備に努めた。
	② 寄贈資料受入冊数	3年間で1%増 平成21年度目標 8,200冊 (平成22年度目標 8,300冊)	8,252冊 (100.6%)	A	ホームページや図書館報に寄贈資料の依頼を掲載するなど広く寄贈を呼びかけるとともに、寄せられた資料の選書・受入れを計画的にすすめた。
	③ 千葉県関係資料の受入冊数	3年間で6%増 平成21年度目標 3,060冊 (平成22年度目標 3,200冊)	3,783冊 (123.6%)	A	千葉県関係資料に関するさまざまな刊行情報の入手に努め購入するとともに、県行政資料や一般に流通しにくい資料等については発行者に積極的な働きかけを行うなど、収集資料の充実に努めた。
2 来館利用・情報アクセスの充実	④ 来館者数	3年間で1%増 平成21年度目標 505,740人 (平成22年度目標 508,000人)	529,627人 (104.7%)	A	新規の企画展や発表会を開催する等、図書館の魅力をPRし利用促進に努めた。
	⑤ 来館者満足度	3年間で満足度70%以上(満足度6段階の上位2段階)を保ちながら、さらに向上するように努めます。 21年度目標70%	72.6%以上 (103.7%)	A	館内研修の充実に図り、業務実例の共有化を徹底し、サービスの向上に努めた。
	⑥ ホームページへのアクセス件数	3年間で20%増 平成21年度目標 555,000件 (平成22年度目標 580,000件)	550,288件 (99.2%)	B	横断検索の参加自治体を増やしたり、企画展示の内容をホームページで公開するなど情報発信に努めた。
3 レファレンスサービスの充実	⑦ レファレンス件数	概ね現状維持 平成21年度目標 31,110件 (平成22年度目標 32,000件)	36,095件 (116.0%)	A	メールレファレンスの件数が増加し、依頼方法として定着してきている。ホームページの蔵書検索により、簡易なものは減少し解決困難なものを中心となってきた。
	⑧ 調査研究支援ツール作成件数	レファレンス事例集の充実に図るとともに、パスファインダーの作成に着手します。 a レファレンス事例データ提供:100件 b パスファインダーの作成・更新:20件 (a:22年度 170件) (b:22年度 30件)	a:119件 (119.0%) b:23件 (115.0%)	A	調査研究支援ツールの本格的な運用が軌道に乗り、一定の進捗をみた。
	⑨ 外部データベース件数	平成21年度目標 19件 (平成22年度目標 17件)	18件 (94.7%)	B	3館の外部データベースの導入方法や課題について検討した結果、県民の課題解決に迅速に答えられる法情報データベース等を導入することとした。
4 千葉県関係情報の充実	⑩ 千葉県関係情報の発信	質的充実に図ります。	a:13,192件 (112.8%) b:4回	A	a:「千葉県関係新聞・雑誌記事索引検索」のデータの入力に力を入れ、前年度の実績に比べ13%増の情報発信ができた。 b:千葉県関係のテーマ展示を3回実施した。また関連部局と連携し県民の課題解決型の企画展示を1回開催した。
	⑪ 資料の電子化	千葉県関係の貴重資料を中心に電子化を行い、利用促進を図ります。 平成21年度目標 350タイトル	355タイトル (101.4%)	A	新たに和装本、錦絵、明治時代の人名事典など36タイトルを選定し電子データを作成した。
5 学校家庭の教育支援	⑫ 学校教育支援・家庭教育支援の質的充実	学校図書館運営の充実や子どもの読書活動の推進に向けた支援用マニュアルの作成や連携の仕組みづくりに着手します。	学校図書館の活動に関する情報収集に努めた。マニュアルの作成に向けて項目を検討した。	B	生涯学習課、指導課及び特別支援教育課等と連携によるプロジェクトチームに参加した。

区分	サービス評価指標	達成目標	平成21年度達成状況	自己評価	摘要
6 児童サービスの充実	⑬ 児童サービスの研修内容の質的充実	児童サービス研修内容の質的充実を検討し、段階的に充実します。	参加者のニーズを把握するため、アンケートを実施した。 また、事前課題を課し、質的充実、研修達成度を高めるようにした。	A	公共図書館協会研修・研究委員会における調査結果や生涯学習課、指導課及び特別教育支援課等と連携して学校図書館の意向把握に努め、研修の質的充実に努めた。
7 障害の充者サービス	⑭ 録音図書貸出タイトル数	3年間で 10%増 平成21年度目標7,840タイトル (平成22年度目標8,000タイトル)	8,987タイトル (114.6%)	A	録音図書の目録をインターネット上に公開したり、電子メールでの録音図書リクエストの受付を開始する等、利用促進に努めた。
8 市町村ネットワークの充実 ネットワーキングの充実 図書館	⑮ 相互協力貸出冊数	3年間で8%増 平成21年度目標 88,000冊 (平成22年度目標 90,000冊)	92,094冊 (104.7%)	A	市町村立図書館等を訪問し、運営相談を行うとともに、図書館職員や学校図書館職員に対して、相互協力マニュアルやハンドブックを活用しながら利用の促進をPRした。
	⑯ 協力レファレンス件数	概ね現状維持 平成21年度目標 2,760件 (平成22年度目標 2,800件)	1,247件 (45.2%)	C	レファレンス件数の減少は、ホームページの蔵書検索により、簡易なものが調べやすくなったことによるが、図書館訪問・広報等で協力レファレンスの利用促進を促すとともに、レファレンス事例の充実や迅速で的確な回答をすることで依頼しやすい環境づくりに努めた。
9 職員研修等の充実	⑰ 体系的・実践的な研修の実施	体系的・実践的な研修方法を検討し、段階的に研修の充実を図ります。	研修事業のあり方検討チームを設置し、千葉県公共図書館協会研修・研究委員会と連携して、11月に県内の公共図書館等を対象にした「研修ニーズ調査」を実施した。 また、千葉経済大学短期大学部との共催で、市町村への講師派遣による連携研修会を館山市・山武市で開催した。	A	「研修ニーズ調査」の結果を千葉県公共図書館協会協会理事会で報告した。平成22年度以降の研修の企画・立案に生かしていくために、協会と県立図書館3館で情報を共有した。
	⑱ 図書館ボランティアの育成	3年間で 20%増 平成21年度目標 300人 (平成22年度目標 320人)	363人 (121%)	A	新たに図書館ボランティア体験講座を実施した。

【自己評価基準】

ランク	評価内容	評価の目安
A	目標達成	100%以上
B	目標をほぼ達成	概ね90%以上100%未満
C	一定の成果はあったが未達成	50%以上90%未満
D	目標を著しく未達成	50%未満又は未着手
—	評価対象外	次年度以降に着手予定